

避難訓練・防災学習校長あいさつ

平成28年1月15日（金）3時間目

今日は、「天災は忘れた頃にやってくる」というお話をします。

まもなく1月17日がやってきます。

また、このあとS先生からくわしく防災の話があると思うので詳しくは話しませんが、「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉を聞いたことがありますか？これは、地震や大雨による浸水や土砂崩れなど天災は、その恐ろしさを忘れた頃にまた、起こるということわざです。

ほとんどの人は21年前の1月17日の朝に震度7もの地震が起きて、家がすべてつぶれてしまうことを想像しなかったことでしょう。

また、だれが5年前に東日本で大地震が起こって高さ20mの津波で家が飲み込まれると想像したでしょうか。

学校だよりも掲載しましたが、阪神淡路大震災では死者6,434人、行方不明者3人、負傷者43,792人、住宅被害は全壊104,906棟、半壊144,274棟などの大きな被害がありました。

東日本大震災では今年の3月11日現在で、死者15,891人 行方不明者2,584人の被害がありました。

そんないつ起こるかわからない地震などの天災にも慌てず、自分の命を守るために避難訓練があります。皆さんが真剣に取り組んでいる姿が本当によかったです。

もうひとつ、先ほど、黙祷を捧げましたね。黙祷とは、お亡くなりになられた方に対して、黙ってお祈りを捧げることです。

皆さんは一言もしゃべらず、お亡くなりになられた方々の冥福を祈りましたね。冥福とは死んでしまった後の幸せをお祈りすることです。皆さんの思いはお亡くなりになられた方にきっと届いていると思います。

地震が起きたときに自分の命を守るために、どんなことに気をつけたらよいのか、S先生から詳しくお話を聞いて、また、各教室に戻っても、地震の恐ろしさや自分がどのように行動したらよいのかを担当の先生方と一緒に考えてくださいね。

これで、校長先生のお話を終わります。